

プロジェクト調達マネジメント実践【会場】（4122027）

今、技術革新、グローバル市場展開、世界的景気後退など企業を取り巻く環境変化のスピードは早くなっています。この環境変化に強い人材（順応する人材）が求められています。プロジェクトを成功に導くためには、発注者が明確な発注仕様を提示することが必要です。本セミナーでは、ケーススタディを通して具体的、かつ実践的なノウハウを習得します。また、数多くのプロジェクトマネジメントを手がけた講師より、失敗・成功事例も数多くご紹介します。

開催日時	2022年11月17日(木) 10:00-17:00
カテゴリ	IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント 共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 専門スキル
講師	佐藤義男 氏 （株式会社ピーエム・アライメント 代表取締役社長 PMI認定PMP） 石川島播磨重工業（現IHI）にて、CIM（コンピュータ統合生産）アプリケーション、原子力発電所検査データ収集・処理システム、AI（人工知能）応用システムなどの開発経験16年。日本デジタルイクイップメントにて、プロジェクトマネジメント実践経験を活かして、新規顧客向けSIビジネスのプロジェクト・マネジャーとして指揮・監督を行う。 現在、(株)ピーエム・アライメントを設立し、企業向けにPMコンサルティング・サービス（PM教育、PMO業務支援、アセスメント支援、DX人材育成支）を提供。 2013年10月に「PMI年間最優秀教育プロバイダー」として表彰された（日本初）。 日本プロジェクトマネジメント協会（PMAJ）理事、PMI会員 著書「改訂新版PMBOKによるITプロジェクトマネジメント実践法」ソフト・リサーチ・センター社 共著「IT分野のためのP2Mプロジェクト&プログラムマネジメント ハンドブック」日本能率協会マネジメントセンター 共著「思いやり型リーダーシップ」サイバー出版センター
参加費	J U A S 会員/ITC : 33,800円 一般 : 43,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み） 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	プロジェクトのご経験がある方、プロジェクトマネージャーを目指している方、発注担当 中級
開催形式	講義、グループ演習
定員	20名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	・お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

会場のみ（オンラインなし） **【Co-lab-po（2階会議室）施設利用にあたっての取り組み】**

■テキスト

当日配布

■開催日までの課題事項

特になし

今、技術革新、グローバル市場展開、世界的景気後退など企業を取り巻く環境変化のスピードは早くなっています。この環境変化に強い人材（順応する人材）が求められています。

プロジェクトを成功に導くためには、発注者が明確な発注仕様を提示することが必要です。さらにベンダー・コントロールについての知識と、マネジメント技術を体得する必要があります。一方、ICD（iコンピテンシ ディクショナリ）でも、ITベンダー企業への発注時に必要なスキルとして「調達・委託先の選定」が定義されています。

今回のゴールは以下のとおりです。

- （1）PMBOK（R）ガイド準拠のプロジェクト調達マネジメント・アプローチを習得する。
- （2）RFP作成のポイントを習得できる。

(3) システム開発において考慮すべきITベンダー・コントロールのポイントを学ぶ。

(4) トラブル事例により、問題点の整理と対策のポイントを習得できる。

本セミナーでは、ケーススタディを通して具体的、かつ実践的なノウハウを習得します。また、数多くのプロジェクトマネジメントを手がけた講師より、失敗・成功事例も数多くご紹介いたします。

現在プロジェクト・マネージャーとして活躍されている方、情報システム部門（企画・提案・見積・開発・運用・保守）管理者、発注担当の方に必見の講座です。

<<受講者の声>>

- ・ 現在抱えるIT調達課題に対して多数の解決策のヒントを得ることができた。また別途テンプレートを提供いただけるのも大変ありがたい。
- ・ 購買担当者にも役立つ内容でためになった。特にRFP作成（内容チェックする立場）、契約書（基本契約締結する立場）の知識についてためになった。
- ・ 講師の具体的な事例をおりませ、わかりやすいお話でした。
- ・ 発注者目線での内容でとてもわかりやすかった。社内に展開し、SEの発注能力向上に努めたいと思う。
- ・ 他社事例など世の中で起こっている状況等理解できた。ベンダーとの関わり方を再考するきっかけとなった。

<<本講座で取り上げる事項>>

- ・ PMBOKにおける調達マネジメントのプロセス
- ・ プロジェクト・マネージャーの役割
- ・ RFP（提案依頼書）の目次例
- ・ ITベンダー認定基準（例）
- ・ ICDにおけるRFP作成の位置付け
- ・ ユーザー主導による調達
- ・ RFPの例と作成のコツ
- ・ 請負と委任（民法）の区別
- ・ 契約業務の視点
- ・ 管理面で留意すべきポイント
- ・ リスクへの備え
- ・ 失敗事例を通じて、業者の選択、契約及び作業開始前の取り決め、進捗管理、業者とうまく付き合うには

<<内容>>

※内容は変更する場合がございます。

1. 調達マネジメントの位置付け

- (1) 調達マネジメントのプロセス
- (2) 調達マネジメントのポイント
- (3) 調達契約の主な形態

2. ITベンダー・コントロールの仕組み

- (1) ソフトウェア請負業務の流れ
- (2) 見積りの取得
- (3) 受入検査
- (4) ITベンダー・コントロールの仕組み

3. 発注者に求められるスキルとは

提案依頼から検収までの必要スキル。

4. 調達マネジメントの計画

- (1) 発注者の明確な仕様決め

ITシステム構築に関するRFPの実態と改善について。

- (2) 契約タイプの選択

主な契約形態、ITベンダー委託によるリスク考慮について。

5. 調達実行

- (1) 発注先選定

選定までのプロセス、発注先選定の評価基準（例）、作業担当者のスキルチェック、について。

- (2) 契約

モデル契約書、ソフトウェア開発契約の留意点について。

6. 調達のコントロール

- (1) 契約管理
- (2) パフォーマンス・レビュー
- (3) 演習問題
- (4) 調達終結

成果物の検収を行い、契約における未了事項を解決し、納入者との契約を完了する。

7. ITベンダー管理におけるリスク

- (1) 想定されるリスク
- (2) 重点留意事項

8. ケーススタディ (ITベンダー・コントロール・トラブル)

ITベンダー・コントロールのトラブルを取り上げ、発注者の問題点と発注担当者としての再発防止の対策をグループ討議し、実務に応用していただきます。

※PMP資格取得者の方へPDU取得修了書、これからPMP資格を目指す方には、「受講証明書」を発行いたします。

7PDU取得 (スキルエリア : Ways of Working)